

奈良県では、福祉・介護人材の確保を目的として、平成28年12月から「奈良県福祉・介護事業所認証制度」の運用を開始しました。職員の人材育成や処遇向上等につながる基準をクリアした福祉・介護事業所を知事認証し、公表する制度です。学生や求職者の方が、知りたい情報を随時閲覧でき、福祉・介護の仕事を選択でき、安心して就職できる事業所を広く紹介してまいります。

チャレンジ事業所支援 活用先インタビュー

認証制度に出会ったきっかけは何ですか？

もともと、人材育成や処遇向上につながる取り組みに必要性を感じていました。その中で、自社の取り組みが十分にできているのかを確認したく、ストレスチェックをはじめとする職員の心身のケアにも、認証取得を機に注力していきたいと思ったのがきっかけです。



【法人名】 有限会社 ゆりの会

【形態】 通所介護、小規模多機能型居宅介護ほか

【所在地】 奈良県生駒市

【対応者】 代表取締役 津田 圭子 様

チャレンジ事業所支援は活用できましたか？

認証基準20項目をその場で1項目ずつ確認・質問しながら、認証取得に向けた準備を進めることができました。小規模事業所で、通常業務もある中での準備なので、イメージが湧かない点がありましたが、県の事業でのサポートを受けられてよかったと感じています。

認証取得に向けた準備はいかがでしたか？

研修計画など、すでに整備・実行していたものもある中で、「ストレスチェック」の取り組みは認証制度をきっかけに開始しました。実際に、知り合いの法人様（認証事業所）にも情報を聞くなどして、準備しました。私は精神保健福祉士の資格を有しているので、それも活かし、職員の心身の健康づくりに努めていきたいです。

人材育成の工夫や、運営の特徴はどのような点ですか？

認知症の理解促進に努めており、小規模多機能型居宅介護の運営推進会議の中では、認知症に関する自主勉強会を開催しています。また、県や市の認知症対応の資質向上に向けた取り組みにも協力しています。認知症は少しでも発見が遅れてしまうと、それだけ進行もしてしまう場合が多いですが、早期発見が叶えば、改善に向けて色々なアプローチをはかることが可能です。自社だけではなく、周囲の事業者様にも発信することで、地域で認知症の理解度・対応力を高めていきたいと考えています。

想い：「一人ひとりのできることを活かす、自立支援」

介護保険制度の開始当初から、一貫して「自立支援」を重視してきました。私たちの仕事は、ご利用者本人ができることを阻害することなく、できることを活かせるような、お手伝いをするのだと考えています。今後もこれまでと同様に、地域と一体となって、在宅介護の拠点となるよう邁進していきたいと思っております。

代表取締役 津田 圭子

<チャレンジ事業所支援の流れ>

チャレンジ宣言

県ホームページ掲載

無料初期診断・相談

認証取得に向け準備

認証取得



小規模事業所向け認証制度チャレンジ事業所に申請します。（別紙申出書によりお申出下さい）



奈良県のホームページに認証にチャレンジしている事業所である旨を掲載します。



専門家（県からの委託）がご訪問し、認証取得に向けた無料相談に対応します。



認証取得に向けた体制整備、制度の周知発信などに取り組んでいただきます。



認証基準をクリアすることで、認証事業所となり、改めて県HPに掲載いたします。